

1 議題

(1) 協議事項

ア 企業向け障害者雇用ハンドブックの改訂状況について

	各委員からの意見・質問事項等	事務局対応・回答
1	P1「1はじめに」の内容が企業側から見た場合に、企業がもっと頑張って下さいというメッセージに捉えてしまう。誤解を招かないよう、内容を修正してはいいか。	本改訂において、内容の修正を行っていく。
2	P2【法定雇用率】の表に年月日を入れた方が良いのではないか。 (2021年3月1日現在)ここ数年法定雇用率が上昇していることから。	ご指摘いただいた点について、年月日の追加を行う。
3	P2【カウント】の表の右上が(カウント)になっているが(人)の方が分かりやすいのではないか。	表については、厚生労働省ホームページに掲載されているものを参考にしているが、本改訂において、(人)への変更について検討していく。
4	P2障害者雇用納付金制度の説明文の追加と修正 ①不足1人につき月額5万円を納付する必要があります。又、法定雇用率達成企業は超過1人につき月額2万7千円の調整金を受給することができます。(⇒A) ②報奨金が申請されます。(⇒B) ⇒ 報奨金を受給することができます。(⇒B)	確認の上、内容の修正・追加を行う。
5	P5の上段まで(障害者差別の例)までと障害者と一緒に働く職場環境の整備例の項目の語尾が一貫をしていないため、どちらかに合わせた方が冊子として成り立つのではないか。	確認の上、語尾の修正を行う。
6	P6-11行目を「～多い傾向にあります。精神療法、心理療法、リハビリテーション、服薬などの～」にしてはいいか。	確認の上、内容の追加を行う。
7	P11-12 特定求職者雇用開発助成金について、7月1日より、トライアル雇用助成金(障害者トライアルコース)と併用する場合、特定求職者雇用開発助成金制度の一部が変更になっていたかと思う。変更になっていた場合、どこかに記載があっても良いのではないか。	確認の上、内容の修正を行う。
8	P14の支援機関一覧は、上記に支援機関一覧を載せて鎌倉市障害者二千人雇用センターを下記にもって来た方が良いのではないか。	確認の上、掲載方法について調整する。
9	P15鎌倉市の障害者雇用の状況について(わかりづらい) ・上段の鎌倉市の障害者数は、鎌倉市民で手帳を所持している方の人数で良いか。 ・上段の年齢別人数に合計欄があると分かりやすい。 ・下段の障害者二千人雇用の推移は、鎌倉市内の事業所等で就労している障害者数(鎌倉市民問わず)で良いか。	確認の上、内容の修正を行う。
10	合理的配慮の部分は大事だと思うため、更にボリュームを増やして説明できると良いのではないか。	内容について調整を行い、より具体的な内容に修正を行う。
11	障害者と一緒に働く職場環境の整備例(5ページから)として障害種類を提示しているが障害の種類によって「職場での配慮」が企業向けのハンドブックだとしたら全ての障害にも配慮例を載せた方が良いのではないか。	具体的内容について、調整を行った後、対応していく。
12	項目別の文頭、行間を直した方が読みやすい。	確認の上、レイアウトの調整を行う。
13	※表記の説明文が各ページ下に記載されているが、※が抜けている	確認の上、追記する。

令和3年(2021年)度第1回鎌倉市障害者二千人雇用推進協議会(書面会議)委員意見取りまとめ

14	現在このハンドブックがどの程度企業に行き渡っているのか？	現在、ハンドブックは市ホームページでの公開に加え、障害者二千人雇用センターが企業訪問する際のツールとして使用している。 引き続き市ホームページへの公開や障害者二千人雇用センターが企業訪問する際のツールとして活用し、また公共施設への配架や講演会等での配布も検討を進めていく。
15	活用企業の声や事例を収集できると良いのではないか。	ハンドブックを活用している企業からの意見等を収集できるよう調整していく。
16	その他企業からの要望(もっとこんな情報が欲しい、ハンドブックで知れると良かったことなど)を収集して反映できると尚良い。	

イ 障害者雇用啓発に関する新たなツールについて

各委員からの意見・質問事項等		事務局対応・回答
1	障害者を雇用して良かった点等、ポジティブな情報を入れると良いのではないか。	障害者を雇用して良かった点については、全体のレイアウトを見直し、追加する。
2	全体的に余裕があると読みやすいのではないか。 スペースが取れるのであれば、2ページ使用するくらいあると良い。 例:1ページ目…事業所、会社の概要/障害者雇用についての情報 2ページ目…受け入れまでの経緯、写真/悩み→現状(こんな悩みがあったが、今はこう!こうすると良い等) ※ここに相談した等、実際の進め方について書いてあるとイメージが湧くのではないか。	全体のレイアウトの見直し行う。
3	「苦労した(している)こと」、「工夫していること」が見えると参考になるため、採用時の課題や苦労した点と、課題をどの様に解決している(現在進行形も含めて)のか現場の声が反映される内容だと、障害者雇用を検討している企業の参考になるのではないか。	「苦労したこと」、「工夫していること」等、よりさまざまな企業的心声を盛り込めるよう見直しを行う。
4	支援機構など、どの様なサポート資源を活用しているのか。活用して良かったところ、難しかったところ、など外部のリソースとしてどの様なサポート資源があるのかと、その活用についての企業側の声もあると非常に参考になるのではないか。	支援機構からのサポートの活用等について、実際にどのようなサポートをかつようしてきたかわかるような項目を設けられるよう、調整を行う。
5	社内でも企業在籍型ジョブコーチや支援者を育成、雇用しているか。またどの様な社内支援体制をとっているのかも良いのではないか。	社内での取り組みについて、具体的な内容を記載する項目を設けられるよう調整を行う。
6	障害者(個人)にフォーカスする想定か。 個人であれば、以下の項目を追加していただいたほうが良いのではないか。 ①事業所の障がい者雇用歴(開始年) ②障害のある従業員の主な業務内容(事業所概要と入れ替えても良いと考えます) ③雇用形態(正社員、契約社員、パート・アルバイト) ④勤務日数(週●日) ⑤勤務時間(1日●時間)	ご指摘いただいた5点について、基本的事項として内容の追加を調整する。
7	紙媒体のみであるなら不要かもしれないが、インターネット等でも掲載するのであれば企業のHPアドレスの記載があっても良いのではないか。	市ホームページへの掲載も予定しているため、HPアドレスの追加も行う。

令和3年(2021年)度第1回鎌倉市障害者二千人雇用推進協議会(書面会議)委員意見取りまとめ

(2) 報告事項

鎌倉市と総社市との障害者雇用の推進に関する包括連携協定の締結について

各委員からの意見・質問事項等		事務局対応・回答
1	人材交流は、非常に刺激になる。新型コロナウイルス感染症が収まったら、実際に訪問し合う等の取り組みもできたらいいのではないかな。	
2	「障がい者」を使用しているが、「障害者」に統一した方が良いのではないかな。	協定締結時、総社市より障害者の表記について、「障がい者」での要望があったため、「障がい者」としている。
3	総社市のよみがな又は岡山県を入れたほうが分かりやすいのではないかな。	よみがな又は岡山県の追加について、検討を進める。
4	「両市」と「鎌倉市と総社市」の記載が混在しているので、どちらかに統一した方が良いのではないかな。	ご指摘いただいた点について、修正に関し検討を進める。
5	今後、協議会としても総社市と意見交換などの場が作れると良いと思う。	
6	せつかくの連携の機会なため、人的な交流を深め関係性の構築が出来ると今後のために有益な関係性を築くことができるのではないかな。	今後人材交流として、両市の福祉事業所を対象とした研修会や意見交換会等の実施を検討している。また、福祉事業所のみではなく、企業も交えた事業についても検討を進めていきたいと考えている。
7	地域との多職種との連携も深めたいです。	
8	他県他市との連携について経緯やメリットを教えてください。	
9	鎌倉市が何故総社市と連携するに至った経緯が知りたい。	両市の障害者雇用の推進に向けて、緊密な相互連携のもと、両市が所有する障害者雇用に関する情報や実施している施策等を共有、活用し、共生社会における社会的課題の解決に取り組むことで、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、市民サービスの向上及び地域の活性化を図るため、協定を締結した。

2 その他

次回協議会の開催予定について

各委員からの意見・質問事項等		事務局対応・回答
1	週の初めの午前中を外していただきたい。	次回開催は、週初めの午前中を除いた日程で調整を行う。